



川越市立霞ヶ関東小学校だより

たいよう

第8号 令和7年11月28日(金)【う】美しい心の子

学校教育目標

- 【た】たくましい子
- 【い】生き生きと活動する子
- 【よ】よく考える子
- 【う】美しい心の子

音楽会を終えて実感した「継続の力」

校長 関根 努

冷たい風に冬の訪れを感じる季節となりました。今年も残すところあとわずかとなりましたが、子どもたちは学習行事にと、元気いっぱいに学校生活を送っています。

先日の音楽会では、たくさんの保護者・来賓の皆さんにご来校いただき、心より感謝申し上げます。体育館いっぱいに響いた子どもたちの歌声や合奏は、どの学年の発表も心を打つものでした。保護者の皆さんも、音楽会で真剣に取り組んでいるお子様の姿を見て、日々の成長を改めて実感された方も多いかったのではないでしょうか。

しかし、どの子も最初から上手に歌えたり、楽器を扱えたりしたわけではありません。曲のリズムが取れず困っていた子、思うように音が出ないことに悩んでいた子、友達と息を合わせる難しさに気付いた子…。しかし、20分休みや昼休み、また、中には家庭でも練習を続け、一つ一つ課題を乗り越えていく姿がたくさん見られました。練習をするたびに少しずつ表情が変わり、自信が積み重なっていく様子は、まさに「継続すること」がもたらす成長そのものでした。

本番の舞台に立った子どもたちの姿を見ていると、継続が学力や技術だけでなく、心の力を育てることを改めて実感します。仲間と協力し、気持ちを合わせる大切さ。最後までやりぬく粘り強さ。そして、努力したことを発表する喜び——音楽会には、こうした学びが数多く詰まっていました。この経験は、子どもたちにとって一生の財産になると信じています。



毎日のあいさつ、掃除、学習、運動…。どれも一つ一つは小さな取組ですが、それを続けることで大きな成長へつながっていきます。本校の子どもたちの姿を見ていると、努力の積み重ねが少しずつ形となり、自信となっていることを強く感じます。

継続するためには、完璧を目指す必要はありません。「昨日より少しだけ頑張る」「できる範囲で続けてみる」という気持ちが、継続の第一歩です。学校では、子どもたち一人一人が達成感を感じられるよう、励ましや認める言葉かけを大切にしながら支援してまいります。

2学期の終わりが近づくこの時期は、学習の振り返りや生活の見直しを行う大切な期間でもあります。冬休みに向けても、「生活リズムを整えること」「学習習慣を途切れさせないこと」など、継続の力を家庭生活でも発揮してほしいと願っています。

今年一年、本校の教育活動を温かく見守り支えていただきましたことに、改めて御礼申し上げます。皆さまどうぞ、健康に気を付けて、よい新年をお迎えください。